

令和2年度 事業報告書

特定非営利活動法人 三海婦人科癌スタディグループ

I. 事業期間

令和2年4月1日～令和3年3月31日

II. 事業の成果

特定非営利活動法人三海婦人科癌スタディグループ(Sankai Gynecology Study Group :SGSG)は、婦人科腫瘍の共同研究グループで、中国四国地方の大学病院ならびに基幹病院を主体とした34施設が所属する。本研究グループは、婦人科がんに関する新たなEBMを構築することを目的とし、国内外の学会発表や、成果を論文化することで、その内容を広く世間にしらしめた。また、他の臨床研究グループとプロトコルの調整を行い、日本臨床腫瘍研究グループ(JCOG)や日本婦人科悪性腫瘍化学療法研究機構(JGOG)などの全国規模での研究につながる知見を集積している。国際的に評価されるような、質の高い臨床研究を進めることを目標として継続して取り組んでいる。

III. 活動実施状況

A. 臨床試験進捗状況

【既に終了した試験】

SGSG001 試験

A feasibility study on biweekly administration of docetaxel for patients with recurrent ovarian cancer

Oishi T, et al. Gynecol Oncol. 2003; 90(2): 421-424

SGSG002 試験

Intraperitoneal carboplatin infusion may be a pharmacologically more reasonable route than intravenous administration as a systemic chemotherapy. A comparative pharmacokinetic analysis of platinum using a new mathematical model after intraperitoneal vs. intravenous infusion of carboplatin- A Sankai Gynecology Study Group (SGSG) study
Miyagi Y, et al. Gynecol Oncol. 2005; 99(3): 591-596

SGSG003 試験

Phase II study of intraperitoneal carboplatin with intravenous paclitaxel in patients with suboptimal residual epithelial ovarian or primary peritoneal cancer: a Sankai Gynecology Study Group Study

Fujiwara K, et al. Int Gynecol Cancer. 2009; 19(5): 834-837

SGSG004 試験

Phase II study of combination chemotherapy with docetaxel and carboplatin for locally advanced or recurrent cervical cancer

Takekida S, et al. *Int J Gynecol Cancer*. 2010; 20(9): 1563-1568

SGSG005 試験

Neoadjuvant chemotherapy with docetaxel and carboplatin followed by radical hysterectomy for stage IB2, IIA2, and IIB patients with non-squamous cell carcinoma of the uterine cervix.

Shimada, et al. *Int J Clin Oncol*. 2016; 21(6): 1128-1135

SGSG005 試験 付随研究

Chemoresistance of Gastric-Type Mucinous Carcinoma of the Uterine Cervix: A Study of the Sankai Gynecology Study Group.

Kojima A, et al. *Int J Gynecol Cancer*. 2018; 28(1): 99-106

SGSG006 試験

Docetaxel and carboplatin chemotherapy for treating patients with stage IVB or recurrent non-squamous cell carcinoma of the uterine cervix: a phase II study

Shimada, et al. *Int J Clin Oncol*. 2021; 26(7): 1314-1321

SGSG007 試験

Clinical impact of systematic pelvic and para-aortic lymphadenectomy for pT1 and pT2 ovarian cancer: a retrospective survey by the Sankai Gynecology Study Group

Oshita T, et al. *Int J Clin Oncol*. 2013; 18(6): 1107-1113

SGSG008 試験

Feasibility Study of Adjuvant Chemotherapy Using Taxane Plus Carboplatin for High-Risk Patients With Uterine Cervical Non-Squamous Cell Carcinoma After Radical Hysterectomy.

Sato S, et al. *Int J Gynecol Cancer*. 2016; 26(3): 561-567

SGSG009 試験

Comparison of adjuvant chemotherapy and radiotherapy in patients with cervical adenocarcinoma of the uterus after radical hysterectomy: SGSG/TGCU Intergroup surveillance

Shimada M, et al. *Eur J Gynaecol Oncol*. 2013; 34(3): 425-428

SGSG010 試験

Comparison of the outcome between cervical adenocarcinoma and squamous cell carcinoma patients with adjuvant radiotherapy following radical surgery: SGSG/TGCU Intergroup Surveillance

Shimada M, et al. Mol Clin Oncol. 2013; 1(4): 780-784

SGSG012 試験

Applicability of the concept of "platinum sensitivity" to recurrent endometrial cancer: The SGSG-012/GOTIC-004/Intergroup study.

Nagao S, et al. Gynecol Oncol. 2013; 131(3): 567-573

SGSG012A1 試験

What is an appropriate second-line regimen for recurrent endometrial cancer? Ancillary analysis of the SGSG012/GOTIC004/Intergroup study.

Nagao S, et al. Cancer Chemother Pharmacol. 2015; 76(2); 335-342

SGSG013 試験

Cisplatin with dose-dense paclitaxel before and after radical hysterectomy for locally advanced cervical cancer: a prospective multicenter phase II trial with a dose-finding study.

Tanioka M et al. Medical Oncology. 2017; 34(8): 134.

SGSG014 試験

試験名	IB2, IIA2, IIB 期子宮頸がん患者に対する Cisplatin+ dose dense paclitaxel (Dose dense TP)による術前化学療法及び再発高リスク群に対する術後化学療法の臨床第II相試験		
	PI: 谷岡 真樹 (兵庫県立がんセンター)		
症例集積期間	平成 24 年 12 月～平成 26 年 8 月		
目標症例数	50 例	症例登録数	52 例
Journal	論文投稿中		

症例登録終了。

SGSG015 試験

試験名	子宮頸部非扁平上皮癌 IB2-IIB 期における治療法と予後に関する後方視的検討		
	PI: 竹原 和宏 (四国がんセンター)		
	事務局: 小島 淳美 (岩手医科大学)		
症例集積期間	平成 25 年 12 月～平成 28 年 9 月		
目標症例数	400 例	症例登録数	269 例
Journal	論文投稿中		

SGSG016 試験

Phase II study of a new multidisciplinary therapy using once every 3 week carboplatin plus dose-dense weekly paclitaxel before and after radical hysterectomy for locally advanced cervical cancer.

Nagao S, et al. Int J Clin Oncol. 2021; 26(1): 207-215

【進行中の試験】

SGSG017 試験

試験名	進行卵巣癌に対する術前化学療法の至適レジメンに関する後方視的検討		
	PI: 長尾 昌二 事務局: 澁谷 剛志 (兵庫県立がんセンター)		
症例集積期間	令和 2 年 3 月～令和 2 年 11 月		
目標症例数	300 例	症例登録数	276 例
症例集積終了。論文作成中			

SGSG018 試験 (新規プロトコール)

試験名	Bevacizumab 併用化学療法後の再発卵巣癌のプラチナ製剤 free 期間と化学療法効果の後方視的再検討		
	PI: 本郷 淳司 事務局: 田中 圭紀 (川崎医科大学)		
症例集積期間	令和 2 年 3 月～		
目標症例数	100 例	症例登録数	
症例登録期間延長中			

B. Intergroup study

GOTIC-002 (LUFT) 試験

試験名 局所進行子宮頸癌放射線療法思考症例に対する UFT による補助化学療法のランダム化第 III 相試験

PI: 藤原 恵一 (GOTIC: 埼玉医科大学国際医療センター)

症例集積 平成 22 年 5 月～平成 31 年 4 月

目標症例数 350 例 症例登録数 351 例

2018 年 7 月症例登録終了。フォローアップ期間終了

GOTIC-003 (iPLAS) 試験

A phase II randomized controlled study of pegylated liposomal doxorubicin and carboplatin vs. gemcitabine and carboplatin for platinum-sensitive recurrent ovarian cancer (GOTIC003/intergroup study).

Fujiwara H, et al. Int J Clin Oncol. 2019; 24(10): 1284-1291

GOGO-EM3 (ACE) 試験

試験名 子宮体がん術後再発中・高リスク群に対する術後化学療法としての TEC (Paclitaxel + Epirubicin + Carboplatin) 療法、TAC (Paclitaxel + Doxorubicin + Carboplatin)、ddTC (Dose-dense Paclitaxel + Carboplatin) 療法のランダム化第 II 相試験

PI: 上田 豊 (GOGO: 大阪大学)

症例集積期間 平成 24 年 10 月～平成 27 年 9 月

目標症例数 105 例 症例登録数 105 例

症例登録終了。

KCOG-G1301

Efficacy and safety of olanzapine combined with aprepitant, palonosetron, and dexamethasone for preventing nausea and vomiting induced by cisplatin-based chemotherapy in gynecological cancer: KCOG-G1301 phase II trial.

Abe M, et al. Support Care Cancer. 2016; 24(2): 675-682

KCOG-G1303

A phase II, open-labeled, single-arm study of dose-dense paclitaxel plus carboplatin in advanced or recurrent uterine endometrial cancer treatment: a KCOG-G1303, DOENCA trial.

Hori K, et al. J Gynecol Oncol 2021; 32(4): e64

KCOG-G1701s

試験名	我が国における子宮および卵巣原発の悪性黒色腫の現状に関する調査研究
	PI: 矢野 光剛 (KCOG: 大分大学)
症例集積期間	平成 29 年 4 月～平成 30 年 10 月
目標症例数	40 例

症例登録期間延長中。

その他

SGSG で遂行している臨床試験の迅速な終了に努め、学会発表ならびに論文発表によるエビデンスの公開をおこなっていくことを確認した。また、新規プロトコールの開始にむけて、広くコンセプトを取り上げていく。

C. 学会活動

第 62 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 (Web 開催) : 2021 年 1 月 29 日～2 月 11 日

ポスター発表 45 (P-221) 卵巣癌 6 : 臨床研究 3

進行再発卵巣癌に対するレジメン選択く三海婦人科癌スタディグループ (SGSG) アンケート

澁谷 剛志 (兵庫県立がんセンター)

D. 研究会会合および講演会

会合名 令和 2 年度 三海婦人科癌スタディグループ総会

日時 2020 年 8 月 9 日 (日) 9 : 40～12 : 00

場所 岡山コンベンションセンター (岡山市)

Zoom による Web 会議の併用

参加人数 現地参加 約 10 名、Web 参加 約 20 名

内容 理事・監事会報告、令和元年度会計監査報告をおこなった。研究成果として、SGSG-015、-016、-017、-018 の報告をおこなった。新規臨床試験 3 題の提案と討論を行った。

令和2年度 財産目録
令和2年3月31日現在
3

特定非営利活動法人
三海婦人科癌スタディグループ
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金			
山陰合同銀行普通預金	3,932,124		
未収金			
××事業未収金			
.....			
流動資産合計		3,932,124	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品			
パソコン1台			
応接セット			
.....			
歴史的資料			
.....			
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
ソフトウェア			
財務ソフト			
.....			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
敷金			
○○特定資産			
××銀行定期預金			
.....			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			3,932,124
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
事務用品購入代			
.....			
預り金			
源泉所得税預り金			
.....			
.....			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
長期借入金			
××銀行借入金			
.....			
.....			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			3,932,124

令和2年度 貸借対照表
令和3年3月31日現在

三海婦人科癌スタリ活動法人の名称
(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	3,932,124	
未収金	×××	
.....	×××	
流動資産合計		3,932,124
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
車両運搬具	×××	
什器備品	×××	
.....	×××	
有形固定資産計		0
(2) 無形固定資産		
ソフトウェア	×××	
.....	×××	
無形固定資産計		0
(3) 投資その他の資産		
敷金	×××	
〇〇特定資産	×××	
.....	×××	
投資その他の資産計		0
固定資産合計		0
資産合計		3,932,124
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	×××	
前受民間助成金	×××	
.....	×××	
流動負債合計		0
2. 固定負債		
長期借入金	×××	
退職給付引当金	×××	
.....	×××	
固定負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	3,925,475	
当期正味財産増減額	6,649	
正味財産合計		3,932,124
負債及び正味財産合計		3,932,124

令和2年度 活動計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人
三海婦人科癌スタディグループ

(単位：円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	0	
賛助会員受取会費	0	
.....		0
2. 受取寄附金		
受取寄附金	750,000	
施設等受入評価益	0	
.....		750,000
3. 受取助成金等		
受取民間助成金	0	
.....		0
4. 事業収益		
事業収益	0	
.....		0
5. その他収益		
受取利息	34	
.....		34
経常収益計		750,034
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	0	
法定福利費	0	
退職給付費用	0	
福利厚生費	0	
.....		
人件費計		0
(2) その他経費		
会議費	667,579	
旅費交通費	24,081	
講演料	0	
英文校正費用	25,705	
支払利息	0	
.....		
その他経費計		717,365
事業費計		717,365
2. 管理費		
(1) 人件費		
役員報酬	0	
給料手当	0	
法定福利費	0	
退職給付費用	0	
福利厚生費	0	
.....		
人件費計		0
(2) その他経費		
通信費、雑費	3,580	
旅費交通費	0	
ホームページ経費（サーバー更新）	22,440	
支払利息	0	
.....		
その他経費計		26,020
管理費計		26,020
経常費用計		743,385
当期経常増減額		6,649
III 経常外収益		
1. 固定資産売却益		
.....		0

經常外収益計			0
IV 經常外費用			
1. 過年度損益修正損		0	
經常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			0
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			6,649
前期繰越正味財産額			3,925,475
次期繰越正味財産額			3,932,124

前事業年度の年間役員名簿

特定非営利活動法人
三海婦人科癌スタディグループ

役名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
理事	紀川 純三		R2年4月1日 ～ R3年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
理事	京 哲		R2年4月1日 ～ R3年3月31日	
理事	沼 文隆		R2年4月1日 ～ R3年3月31日	
理事	中村 隆文		R2年4月1日 ～ R3年3月31日	
理事	本郷 淳司		R2年4月1日 ～ R3年3月31日	
理事	山口 聡		R2年4月1日 ～ R3年3月31日	
理事	大石 徹郎		R2年4月1日 ～ R3年3月31日	
理事	松元 隆		R2年4月1日 ～ R3年3月31日	
理事	平田 英司		R2年4月1日 ～ R3年3月31日	
監事	竹原 和宏		R2年4月1日 ～ R3年3月31日	
監事	板持 広明		R2年4月1日 ～ R3年3月31日	

(備考)

- 1 「役名」の欄には、理事、監事の別を記載する。
- 2 「住所又は居所」の欄には、鳥取県特定非営利活動促進法施行条例第3条第1項に掲げる書面によって証された住所又は居所を記載する。
- 3 「就任期間」の欄には、左に記載された役員全員について記載し、「報酬を受けた期間」の欄については、報酬を受けたことがある役員のみについて記載する。

社員のうち10人以上の者の名簿

特定非営利活動法人

三海婦人科癌スタディグループ

氏名	住所
紀川 純三	
京 哲	
沼 文隆	
中村 隆文	
本郷 淳司	
山口 聡	
大石 徹郎	
松元 隆	
平田 英司	
竹原 和宏	
板持 広明	